

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 中濃特別支援学校 学校運営協議会 (第1回)
- 2 開催日時 令和5年5月22日(月) 10:00~12:00
- 3 開催場所 中濃特別支援学校 特別棟2階会議室
開催にあたり、委員による校内見学を実施した
- 4 参加者

会 長	大谷 弘	各務原市手をつなぐ育成会理事長
副 会 長	伊藤 園美	岐阜県立ひまわりの丘第一学園長
委 員	朝倉 勝美	せき防災の会代表
	梅田 美保	美濃市ひばり園 サービス管理責任者
	酒向 光男	向山町自治会長
	佐藤 由紀子	株式会社e-パック サービス管理責任者
	澤井 基光	岐阜県民生委員児童委員協議会会長
	村田 泰弘	中部学院大学短期大学部幼児教育学科准教授
	山田 香奈江	本校同窓会後援会長
	後藤 好子	本校PTA会長
学 校 側	大島 達史	校長
	廣瀬 雅行	副校長
	村山 朋子	事務部長
	平野 直子	教頭
	古田 洋子	小学部主事
	森 雅明	中学部主事
	三宅 千絵	高等部主事
	浅野 泉	教務主任

5 会議の概要(協議事項)

(1) 令和5年度学校概要と学校運営について

- ・アクションプラン、働き方改革プランに基づく学校運営について
- ・教育計画について

意見1: 学校教育目標の「自立」は、自分一人で生きていくことではなく、互いに協力して支え合いながら生きていくことであるという説明に共感した。

意見2: 軽度の障がいの方でも、生涯に渡って地域の方に支えられているという難しい現状がある。いろいろな人と共に生きていくという、共立を目指すことが大切である。

意見3: 地域の方に理解してもらうために地域とつながることが大切であり、どのように地域に働き掛けていくかが重要である。積極的な地域への発信を期待している。

⇒積極的に地域とのつながりがもてるよう、具体的な取組について検討する。

◎令和5年度の学校運営の方針について、全委員より承認を得た。

(2) 令和5年度教育課程について

- ・教育課程について
- ・年間行事計画について

意見1：重複障がい学級の類型について、児童生徒の区分をどのように決めているのか。

⇒就学相談や前籍校等からの引継ぎなどから総合的に判断して決めている。

意見2：類型における明確な線引きはあるのか。

⇒児童生徒個々の実態は様々で、明確な線引きはできない。総合的な判断で運用している。

◎令和5年度教育課程について、全委員より承認を得た。

(3) 令和5年度学校運営組織について

- ・運営組織（学級担任等）について
- ・校務分掌について

意見1：防災安全部はどのような取組を行っているのか。

⇒平時は、命を守る訓練やシェイクアウト訓練の実施、防災安全計画や本校独自の防災ハンドブックの見直しを行い、緊急時に備えている。

◎令和5年度学校運営組織について、全委員より承認を得た。

(4) 高等部作業製品販売価格について

- ・各班の製品価格の設定について

意見1：価格の根拠資料に、店名が具体的に記載されているが、店が特定できないように記載したほうがよい。

⇒ホームセンターや100円ショップなどの記載に改める。

意見2：価格の根拠が明確であり、妥当な価格設定である。

意見3：地域のイベントでの販売の機会あるとよい。

⇒今年度は、7月に大型ショッピングセンターでの販売会、12月に校内での販売会などを計画している。

意見4：外部からの注文を受ける取組もできるとよい。

⇒昨年度は、巣箱の注文があり、木工班が製作をした。

◎高等部作業製品販売価格について、全委員より承認を得た。

(5) その他

意見1：こども基本法において、「こどもの意見の尊重」が基本理念としてあげられている。

障がいの有無に関わらず子ども本人の意見を聞くことが大切である。（複数）

6 会議のまとめ

第1回学校運営協議会では、全委員より今年度の本校の学校経営計画を踏まえた学校運営基本方針について、また、高等部作業学習の作業製品の価格についても承認が得られた。

現在はコロナ禍以前の活動とは程遠い状況であるが、委員の貴重な意見はもとより児童生徒の意見を聞きつつ、学びの実現のため全職員でより一層の努力をしていく。今後の課題として、地域への効果的な情報発信、コロナ禍後の感染症対策の緩和と予防と豊かな学びの両立に取り組む。